



102 次調査現地見学会を開催しました

令和2年12月19日(土)に102次発掘調査の見学会を開催しました。新型コロナウイルス蔓延防止に努めながらの開催でしたが、60名の方にご参加いただきました。現地にて実際の正倉を見学しながら、担当者が出土遺構の説明などを行いました。

現在、掘立柱建物は保護のために埋め戻しており、規模を縮小して102次調査を継続しています。令和3年2月には終了する予定です。



102 次調査の主な成果を紹介します



102 次調査区の正倉群（写真上が南西）

◆ 正倉の規模・基礎工事の様子等が確認できました

○1号礎石建物	総柱	4間（8.0m）×3間（桁行×梁行 以下、同じ）	寸法 8.0×6.48m	床面積 51.84㎡
○8号礎石建物	総柱？	4×3間？	柱間寸法 1.76m×1.84m	
○15号礎石建物	総柱？	4×3間？	柱間寸法 2m弱（推定）	
○5号掘立柱建物	総柱・布掘り	4×3間	寸法 7.60×5.48m	床面積 41.34㎡
○7号掘立柱建物	総柱・布掘り	4間（7.44m）×3間（5.52m）		床面積 41.06㎡

◆ 正倉院の建物配置の一部が確認できました

- 従来知られていた掘立柱建物列の西端が把握できました
- 新たな建物配置（掘立柱建物列よりも外側に位置する礎石建物）が確認できました

◆ 正倉院は地形に沿って造られました

◆ 今次調査区内の正倉は 3 回、又は 4 回建て替えられていました

◆ 度々正倉火災に見舞われていることが判明しました

また、掘立柱建物は、掘り方の形状に統一性がないこと、掘り方（基礎工事）と実際の柱の位置に偏りが認められることから、何らかの理由で土木と建築の連携が十分にとれなかった可能性が推測できます。

恒川まいにち見学会！

恒川官衙遺跡の発掘調査では、毎日現場のようすを直接ご覧いただけます。

- ・平日 10 時～15 時（土日祝・雨天等休み）
 - ・現地で調査員が直接解説します。
- ぜひお気軽にお立ち寄りください！

史跡恒川官衙遺跡調査速報 28

令和 3 年 1 月 26 日発行 飯田市教育委員会

生涯学習・スポーツ課 文化財活用係

調査担当者：羽生俊郎

TEL：0265-22-4511（内線：3755）

FAX：0265-22-7969

E-MAIL：bunkazai@city.iida.nagano.jp

HP：https://www.city.iida.lg.jp/site/bunkazai

